

千寿の郷 かわら版

【千寿の郷ブログ】

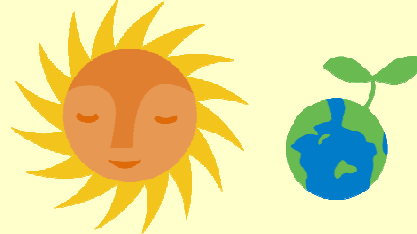
絶賛更新中

■ ホームページ → <http://senjunosato.kenwa.or.jp>

■ Twitter → <https://twitter.com/senjunosato>

ホームページよりアクセスしてください!!

『 戦争の話し 』 入所利用者 茂呂和夫様



千住の柳原に住む入所者の茂呂和夫さんから、戦争中のお話を聞かせて頂きましたのでご紹介致します。

八機の編隊を組んで低空飛行する米軍の爆撃機B29を、茂呂和夫さんが見たのは小学3年生の頃。茂呂さんの長兄は海軍の航空隊に所属、次兄は陸軍で戦っていました。

千住警察のサイレンが鳴り響き、茂呂さんは思わず空を見上げました。B29の編隊が西の空から荒川の方へ向かって飛んでいきます。それは、軍

需工場だった石川島造船所がある方向でした。また、現在の千住千草園の場所にあった丸三製紙工場や、千住新橋をねらってB29は爆弾を落としました。

B29は7人乗りで高度1万メートルも上がり、中は真綿に包まれて冷暖房も完備されていました。一方、日本の戦闘機「神風」は1人乗りで7000mほどしか高度が上がらず、機内はベニヤ板と軟弱なもので、とても勝ち目はなかったと茂呂さんはいいます。

柳原から千住の大踏切に向かう桜並木の広い通りは、かつて疎開道路と呼ばれていました。それは空襲による火災の延焼を防ぐ為に陸軍が作った道路で、建物を強制的に移転させられ広げられました。そこには箆笥や布団などの家財道具を並べ、雨ざらしにしたといえます。

空襲がひどくなると、茂呂さんは父方の親戚を頼り、茨城の坂東市に縁故疎開をしました。疎開先ではグラマン戦闘機が住民を襲いました。強固な構造で大出力のエンジンは、ブルーインパルスのように曲芸ができるほど。低空飛行してきたグラマン戦闘機の機銃掃射を浴びて多くの住民が犠牲になりました。

疎開先では「疎開っ子」と言われていじめられることもありましたが、親戚が町の元締めだったためにそれほどつらい思いはしませんでした。茂呂さんの母親は脳溢血で右手が使えない障害をもっており、男ばかりの本家で大変な苦勞をしました。特にお風呂をもらいにいかなければいけなかったことがつらかったといえます。

「戦争が終わってから、なんで大人たちは戦争をやったんだと恨んだよ」と茂呂さんは語ります。戦後75年経った今も、茂呂さんの怒りは消えていません。もう二度と戦争はしたくない。茂呂さんの平和への願いを早く実現しなければなりません。

看護師 斎藤 みゆき

インタビュー 入所利用者 青田武志様



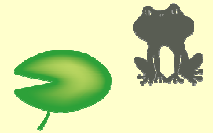
千寿の郷に入所をされている青田さん。お部屋では、本を読まれるか書き物をされています。読書も野球も熱中するタイプだとご自身で言われてました。以前は、塾長を務め何人も優秀な教え子を輩出されています。ご利用中、毎月の言標を考えてくれます。そんな青田さんに俳句について少しお話を伺いました。

Q. 初めて俳句を書いたのは？

A. 中学3年の時、松尾芭蕉の『奥の細道』を授業でやったんだよ

Q. 好きな俳句はありますか？

A. 古池や蛙飛び込む水のおと



Q. 何故その俳句？

A. その俳句の背景が好きなんだよ。吉田養陰の本に書いてあった。

Q. 今、読まれてる本はありますか？

A. 万葉集が面白かったよ。



Q. 今の季節で一句どうぞ

A. 『草むらで 鳴くコオロギの 声かなし』

Q. 青田さんにとって俳句とは？

A. 頭の体操だね。今じゃスラスラ出てくるよ。

自宅で出来る体操

簡単 タオル体操

タオル(杖でも可能)をつかって、簡単に肩周りのストレッチ！
 効能：肩と背中周りをストレッチすることで、大胸筋、僧帽筋、広背筋を刺激し、肩こりや猫背の改善をはかります。

1. 始める前の姿勢

- ①物や人にぶつからないよう気をつけて行ないましょう。
- ②姿勢は、やや浅く座り、体は背もたれから離しましょう。

頭の後ろ(届かない場合は頭の上)10秒3回



Point

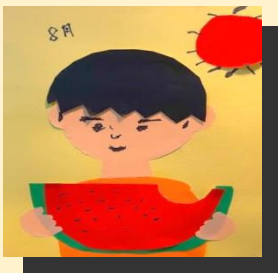
- ・胸をはる。
- ・肘と肘を離すイメージ。

注意!!

- ・腰や背骨が痛む場合は中止して下さい。

季節の貼り絵

【テーマ】『孫の夏休み』



リアルな表情の少年です。お孫様の顔を思い浮かべ作られたのでしようか。



わき目も振らずに食べてますね

言標
〜 長月 〜

炎天の 空見て思う 夏の訪れ

入所利用者 青木 シツエ 様

秋立てど ほんとの暑さ これからだ
 やぶ入りに 墓参りもできず 盆が逝く
 巡り来る 夏変わらねど 我が老ゆ

入所利用者 青田 武志 様